



【フィナンシャル情報館株式会社】

先日、佐賀県武雄市にある御船山楽園で開催されているアート展【チームラボ かみさまがすまう森】に小5の娘を連れて行って来ました。チームラボさんは今、世界で注目されており全国各地でそこにある建物や土地を活用して独特の世界観を表現しているアート集団です。私が住んでいる熊本でも先日まで開催されておりました。

私達がとても驚いたのは「廃墟の湯屋に住む生き物たち」という作品でした。この作品は右の写真のように自分で生き物を描き、その描いた生き物が命を授かり、動き回るといったものでした。さらに驚いたのは、食物連鎖も表現されており、カエルの近くに蝶が近づくと食べられてしまい蝶は消滅してしまいます。カエルの近くにトカゲが近づくと食べられてしまいカエルは消滅してしまいます。また、人間が近くを通過して誤って踏みつぶしてしまっても消滅してしまいます。こういった仕組みになっているのかさっぱりわかりませんでした。そういった疑問をよそに娘はとても喜んでいました。私はカエルを描き、娘が蝶を描きました。娘の蝶は、はじめは優雅に夜空を舞い、花々にとまって順調に増えていきました。しかし、描いた生き物のチョイスが悪かったのか、私の描いたカエルが娘の蝶を食べ荒らしたのです。そのおかげで右の写真のように私のカエルはその土地の覇者になったかのように増殖していきました(苦笑)。これには娘も半泣きになってしまい、しまいには私と口を利かなくなりました(涙)。

下部左の写真は「廃墟の湯屋にあるメガリス」という作品です。1時間で、1年間の花々が咲いていく様(生まれ、咲き、散り、枯れて死んでいく)を表現しているそうです。1時間もいなかったのですが作品の真意を感じることはできませんでした。。。下部右の写真は「呼応するランプの森とスパイラル・ワンストローク、夏の森」という作品です。人がランプの近くを通り過ぎたり、しばらくじっとしていたりすると色や強さを変え、ランプとランプの間に線があるかのような錯覚を得ることが出来ました。

